



(株)環境地質



会社案内

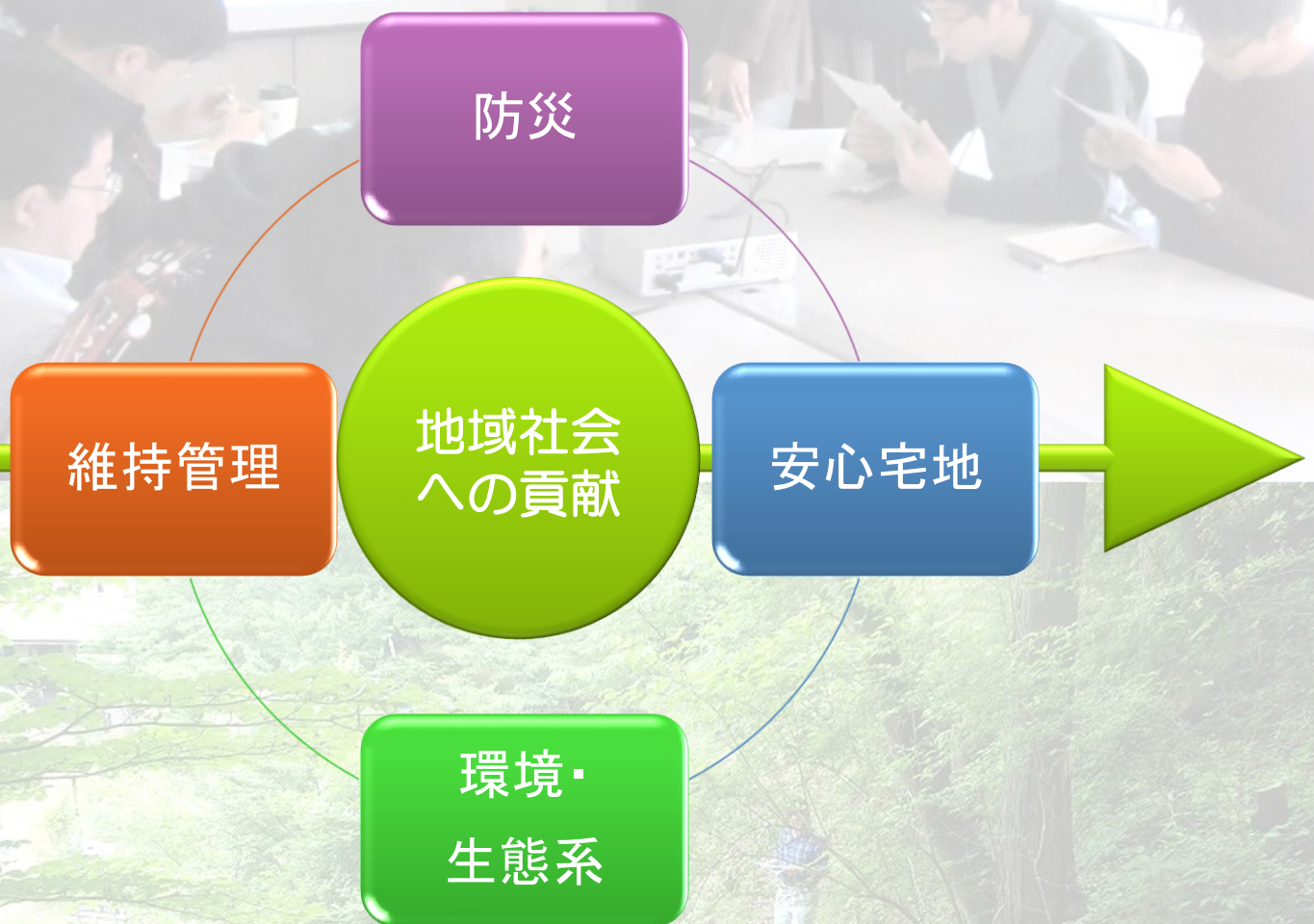
Kankyo Chishitsu Co., Ltd

環境地質



地形・地質を工学に生かす

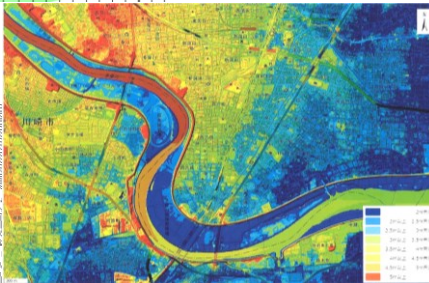
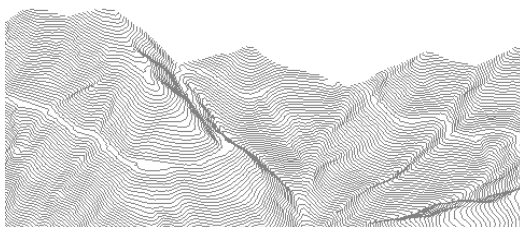
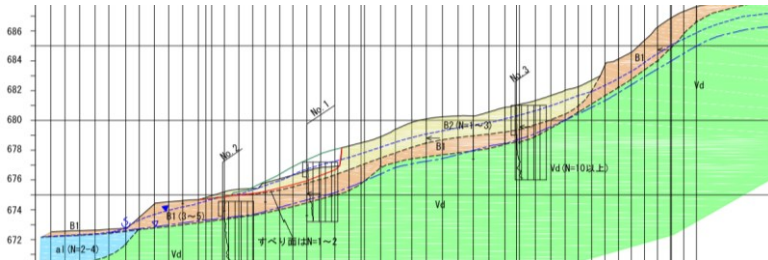
地表・地質踏査やバランス断面を中心とした地質解析や高解像度地形情報、空中写真判読やドローン画像を利用した地形解析を基本技術として、防災・減災、インフラの維持管理、環境の保全に貢献します。



地域社会と地質学の境界領域の橋渡し

防災

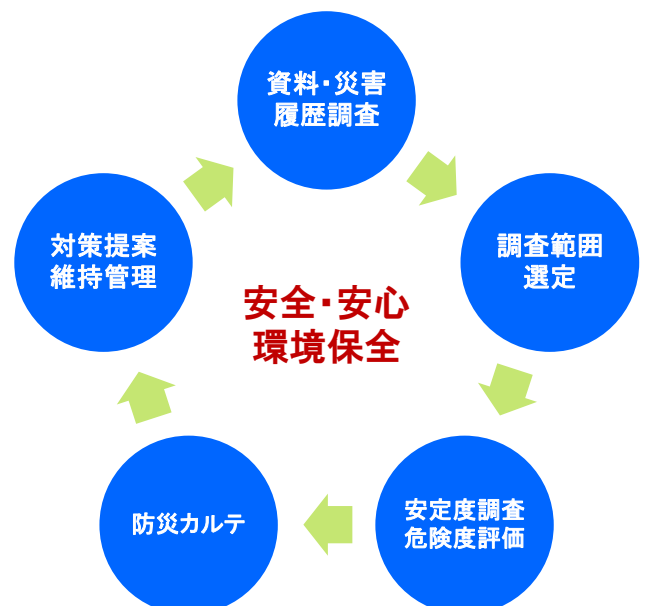
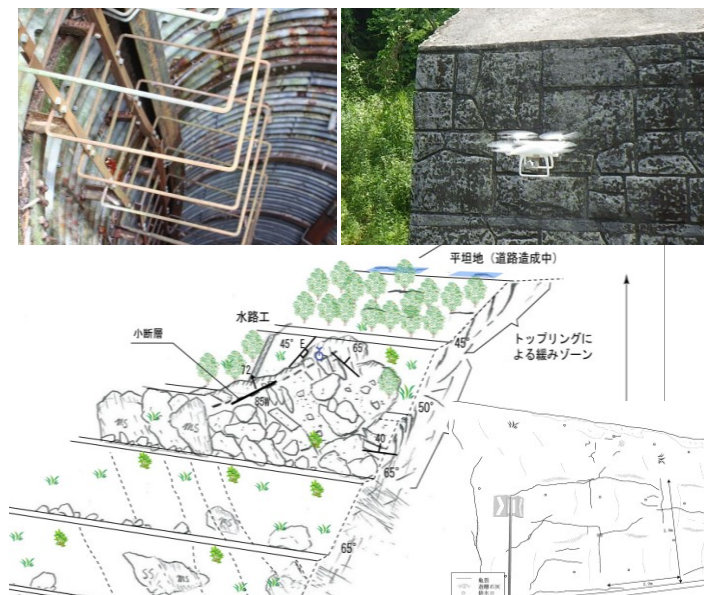
ここ数十年都市近郊の開発が急速に進み、広島豪雨や西日本豪雨のように過去の土石流扇状地の上も宅地となっています。地震や火山噴火も増えてきました。このような自然災害に備えるために幅広い知識を結集し、減災や防災の知恵を提供します。



維持管理

高度経済成長期以降に建設した構造物が更新時期にさしかかっています。また、道路や上下水道といった社会インフラに関しても、徐々に寿命を向かえる物が増えています。一方で、造成した構造物をできるだけ長く利用すること、すなわち防災対策施設の長寿命化計画の策定や、その基礎となる点検調査が急務となりました。

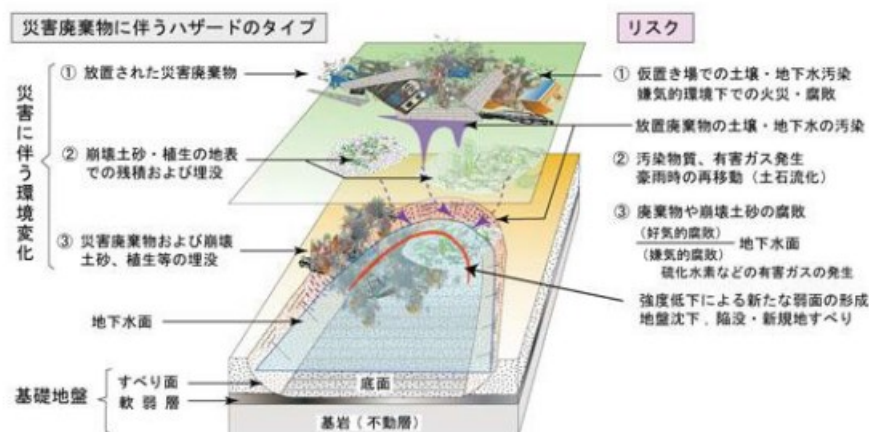
環境地質では、対象地域の地形発達史的背景や地質構造を踏まえ、今後の変化予測、わかりやすい説明、ライフサイクルコストの低減も視野に入れた調査、維持管理、点検に先駆的かつ幅広く携わっています。



4つのコア事業

環境・生態系

環境地質では、地盤環境をベースとした環境調査や廃棄物処理の研究などにも力を注いでいます。東日本大震災で注目された『災害廃棄物』も、平成16年新潟県中越地震以来、先駆的な研究を重ねています。また、動植物の生育に関わる地盤条件や水分条件等の関わりを明らかにするための応用地生態学の観点から、生態系の保全を考慮した地盤調査や防災や環境保全対策を推進しています。



あんしん宅地

万が一裏山が崩れたら、誰の責任なのでしょう。地盤に起因するトラブルも増えて来ましたが、弁護士も地盤のことまで分かる人は多くありません。環境地質では、トラブルの原因を探り対策を考えます。環境地質の最終目標は、市民の一人ひとりの安心と安全です。万が一裁判になったとしても、最後まであなたの味方です。



送信者：[不明]
宛先：[不明]
送信日時：[不明]
件名：[不明]

本日は遠方までの調査、ありがとうございます。
真摯なご対応ありがとうございます。

裁判で実際に意見書を書かれたことや
スタッフ紹介で、地質の専門家がおられることをよく読んでの相談でした。
これは大変助かりました。なぜなら弁護士に相談する際にも
法的なアドバイスのみで話を進めることは困難だったからです。

その後、すぐに現地調査ができることと現在に至ります。
答弁書の提出期間が迫っている中で、御社の迅速なご対応は本当に助かりました。

送信者：[不明]
宛先：[不明]
Cc: [不明]
送信日時：[不明]
件名：[不明] 防災点検 ありがとうございます

様 様

お世話になっております。
カルテありがとうございます。受領しました。
大変分りやすくまとめて頂きまして感謝申し上げます。

くわしくは環境地質サービスへ <http://www.kankyo-cs.co.jp>

施工・機器販売

土層強度検査棒

(独) 土木研究所 特許2002-281585号



軽い！



土検棒(土層強度検査棒)は、表土層の厚さや強度を計測する調査器具です。フルセットで 4.5kg と軽量で(簡易貫入試験機のハンマー以下！)測定時間も短いため斜面や盛土の強度分布のゾーニングなどに最適なツールです。特筆すべきは原位置でC・φ が測定できるため、15 分以下で土層強度の深度分布と弱部での C・φ を効率よく調査することができます。

(株) 環境地質サービス

TEL/FAX 044-201-2605

特願:2010-238958

斜面の表層崩壊防止工法

鉄根打設工法



鉄根は木の根にヒントを得た斜面安定化工法です。有孔鉄パイプを複数まとめて表層土壤に打設することで、表層崩壊が起こそうとすると土壤を緊縛するとともに、間隙水圧を消散し、崩壊を止める効果があります。

従来の斜面安定化工法に比べてきわめて安価で施工しやすい工法です。樹木の伐採の必要が無く環境負荷も低い工法です。

鉄根打設

樹木を切らずに表土保全が可能



学会活動・災害調査団の活動

目指すは



日本一の富士山



世界一のエベレスト

学会	委員会	職務等
地盤工学会	講座委員	委員
	堆積環境が地盤特性に及ぼす影響に関する研究委員会	委員
	編集委員会	委員
	地盤工学における生態系を考慮した環境評価に関する研究委員会	幹事
	暮らしと土と生態系編集委員会	幹事
	環境地盤調査小委員会	委員
	環境地盤調査解説執筆委員会	幹事
	地盤環境調査解説執筆委員会	委員長
	地盤工学におけるリスクマネジメントに関する事例研究委員会	委員
	地盤工学におけるリスクマネジメントに関する事例研究普及委員会	委員長
	地盤リスクと法・訴訟等の社会システムに関する事例研究委員会	委員長
	地盤リスクと法・訴訟等の社会システムに関する事例研究普及委員会	委員長
土木学会	自然災害に対する安全性指標(GNS)の開発とその利活用に関する研究委員会	顧問
	JGS台風19号被害調査団	団員
	JGS豪雨災害被害委員会	委員
	火山工学研究小委員会	副委員長
	斜面工学研究小委員会	副委員長
	編集委員会	委員
	地盤調査基本と手引き編集委員会	委員
	豪雨・地震斜面災害調査団(33災害)	幹事
	有珠山噴火緊急調査団	幹事
	三宅島噴火緊急調査団	幹事
日本応用地質学会	新燃岳噴火緊急調査団	幹事
	御嶽山噴火緊急調査団	団長
	日本活断層学会	2020-21年度総務委員会 委員長
	兵庫県淡路市	野島断層活用委員会 委員
	日本応用地質学会	応用地形学研究小委員会 委員
		環境地質研究部会 部会長
		災害地質研究部会 部会長
		理事会 理事
		2016 年熊本・大分地震災害調査団 団員
		2017年九州北部豪雨災害調査団 幹事長
		平成30年7月豪雨災害調査団 副団長
		平成30年北海道胆振東部地震災害調査団 副団長
		令和元年東日本台風災害調査団 副団長
		令和2年7月九州豪雨災害調査団 副団長
日本地すべり学会	出版委員会	委員
	関東支部	幹事
日本技術士会	応用理学部門	幹事
	広報委員会	幹事
	倫理委員会	委員
	赤門技術士会	幹事
愛媛大学	ネパール調査団	団員
京大防災研	非常勤講師	講師
中央大学	集中講義	講師
山梨大学	非常勤講師	講師
土木研究所	地形的・地質的視点に基づく生態系への環境影響の予測軽減技術に関する共同研究	委員
	土層強度検査棒研究会	副会長

会社概要

社 名	株式会社 環境地質
H P	http://www.kankyo-c.com
住 所	川崎本社: 〒210-0014 神奈川県川崎市川崎区貝塚1-4-15-203 Tel: 044-221-1910 FAX: 044-201-2606 東京支店: 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂4-3-1-301 Tel & Fax : 048-711-7596 横浜支店 〒230-0012 神奈川県横浜市鶴見区下末吉6-263-1-409
設 立	1991年(平成3年)4月1日
資本金	1,000万円
代表者	稲垣秀輝 小坂英輝
従業員数	16名

登録資格

建設コンサルタント登録	H20.6.24 登録番号 建30第9135号(地質部門), (河川・砂防及び海岸海洋)
地質調査業登録	R3.12.16 登録番号 質28第2743号
測量業者	H20.6.19 登録番号 登録第(3)-31553号
所属研究機関	H20.5.02 所属研究機関コード 600020629



有資格者数

博士 (工学)	1名	(応用理学)	6名	一級造園施工管理技士	1名
(理学)	3名	技術士補 (建設)	1名	応用地形判読士	1名
技術士		(森林)	1名	地質調査技士	1名
(総合技術監理)	2名	生物分類技能検定1級(植物)	1名	地すべり防止工事士	3名
(応用理学)	5名	地盤品質判定士	1名	潜水土	2名
(建設)	2名	地盤品質判定士補	1名	2級ビオトープ管理士	3名
(森林)	2名	測量士	2名	応用情報技術者	1名
(環境)	1名	一級土木施工管理技士	2名		

事業内容

調 査	地形解析, 環境調査, 生態系調査, 基礎調査, 地表踏査, 地質解析, 防災調査, 動植物調査
分 析	水質分析, 土壌分析, 理化学分析
地盤汚染対策	土壌汚染, 地下水汚染, 処分場評価
点 検	斜面点検, 地盤点検, 各種メンテナンス
地盤判定	宅地地盤危険度判定, 宅地斜面危険度判定, 裁判地盤鑑定
リスクマネジメント	土砂災害リスク, 地震リスク, 火山噴火リスク, 地盤汚染リスク, 環境リスク, 地盤リスク評価